

日系企業で働く現地ベトナム人から見て

ベトナムデスク 前田 昌良

1. はじめに

ここ数年、若者を中心に日本文化が「特長と魅力のある文化」として浸透し、また歓迎されていますが、数多くの日系企業のベトナム進出と相まって、ベトナム人の中で「日系企業で働くこと」は有力な選択肢となっています。そこで、今回は日系企業で働くベトナム人についてレポート致します。

2. 日系企業を選択する理由

ベトナム人が日系企業への就業を選択する理由として、日本文化、勤務環境、給与の三点が考えられます。

①日本文化

日本文化は「尊師重道（教師を尊敬したり道理を尊重したりする）」、「目上の人を尊敬する」、「目下の人にも丁寧である」、などの点でベトナム文化と似ており、日本人とベトナム人の考え方は近いと言われています。

また、日本人は「丁寧で穏やか」との印象を持たれており、ベトナム人は日系企業での就業に対し「文化の面で大きな問題がない」、「親切に待遇されるはず」と考えています。

②勤務環境

一般的にベトナムの若者はだらだらとした勤務環境を嫌い、プロ意識が高くチャレンジできるビジネス環境で成長したいと考えており、日本人が「勤勉で、仕事上厳しい態度・姿勢を見せる」ことから、日本企業は「プロ意識が高い」、「会社の目標にストイックである」と高く評価されています。

また、日系企業は信頼を重視し、法律の遵守はもとより、安全な労働環境の確立などに取り組んでいることから、日系企業への就業は特段不安もなく、安心できる勤務環境と高く評価されています。

③給与

日系企業は給与が高く、また、法律に従い、給与支払が定期的かつ確実に行われるほか、労働者の権利保護にも高い関心を払っていると考えられています。

3. 日系企業で実際に働いたベトナム人から見て

「実際に日系企業に勤務したベトナム人はどう感じているか」について、1年間以上日系企業で勤務するベトナム人を対象に調査したところ、次のような結果となりました。

①プロフェッショナル意識の高さ

「日系企業の環境は厳しいが、プロフェッショナル意識があり、このような環境で頑張ると成長できる」と多くの人を感じています。実際に日系企業で働いているベトナム人は活発であり、仕事に対する高いプロフェッショナル意識を持っています。

②日本人上司とのコミュニケーション不足

日系企業では基本的に年功序列制度が採用されているため、ベトナム人スタッフはシニアクラスでないと日本人上司に接近しにくい、という状況が生じています。

このように、日本人と一緒に仕事をすることや、会話をする機会が少ないことから、「日系企業に勤務しても勉強できず、なかなか成長できない」と感じるベトナム人も多いようです。

③人事評価についての不満

日本人は自分の考えをあまり表に出さない傾向にありますが、ベトナム人ははっきりした物言いや態度を望むため、日系企業の人事や評価のあり方に対して不満を持つ人が増えているようです。特に「昇給が遅い」、「ボーナスが少ない」というコメントが多く見られました。

4. 最後に

冒頭で「日本文化とベトナム文化の類似性」を述べましたが、もちろんその違いも大きく、この両国の文化の違いが様々な問題を引き起こしていると考えられます。

実際に不満を持っているベトナム人の多くは日本人の考え方、日本文化を深く理解していないことが多いようです。

一方、日系企業へ一度勤務した経験のあるベトナム人の多くは、その後また別の日系企業に入社する、という傾向も見られます。

前述の問題を解消し、より良いシナジー効果を生み出すためには、日系企業が地元の交流会に参加するなどにより、日本文化を宣伝することも必要と考えられます。

また、ベトナム政府や各大学と協力し、職業選択時の指導助言に力を入れることにより、優秀な人材採用と同時に問題発生未然防止を図ることも効果的だと考えられます。